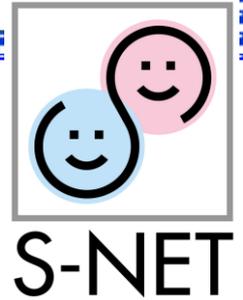


KSK湘南ふくしネットワーク オンブズマン(新聞)

広報49号

編集責任者：NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン 藤本直也
事務所：〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町5-22 永井ビル3階
電話・FAX：0467-85-6660 直通電話090-4937-4904 定価30円
ホームページ：<http://www.npo-snet.com> eメール：info@npo-snet.com



❖ みんなでイキイキ S ネット ❖



秋だ！研修め切迫る！

「権利をまもる」人材育成研修

～自分のまちで活動するっていいよね♪～

「何かしたいな」と思っているあなた！今まで培った経験をもとに、「自分を活かす」チャンスです！

また、福祉サービス事業所職員の皆さまの人権研修にもピッタリな企画です！

【1日目】 9月23日(土) 10:30～16:30

会場：茅ヶ崎市役所分庁舎5階AB会議室

【2日目】 9月24日(日) 10:00～16:30

会場：さがみ農協茅ヶ崎ビル5階大会議室

参加費 ひとり2,000円(2日分) ※1日参加の方も同額

後援 茅ヶ崎市 / 茅ヶ崎市社会福祉協議会 / 茅ヶ崎市社会福祉事業団

主催 特定非営利活動法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン
茅ヶ崎市元町5-22 永井ビル3階

申し込み電話番号 090-4937-4904、FAXの方は 0467-85-6660 へ

受講ご希望の方は **9月16日** までにお申し込みください。

お申し込みの際は、お名前・ご連絡先・お住まいの市町村名・ご所属・お立場をお知らせください。



私たちの法人では、毎年さまざまな研修を行って、「高齢者」や「障がい者」の権利擁護を地域社会にお伝えしてまいりました。今年には当法人設立20周年を記念して、その集大成ともいうべき、「権利をまもる」人材育成研修を行います！是非皆さまお誘いあわせの上、ふるってご参加ください！



2017年度人材育成研修講師のご紹介

鈴木敏彦さん「入門『権利をまもる』とは？」



和泉短期大学児童福祉学科教授、社会福祉士。福祉サービス利用者の権利擁護を専門分野とし、神奈川県自立支援協議会会長、藤沢市障害者差別解消支援地域協議会代表、相模原市障害者施策推進協議会会長等を務めるほか、県内外での権利擁護の実践活動に参加しています。昨年度の「権利をまもる」シンポジウムの基調講演「障害者差別解消法」講師。「難しい内容なのに、とてもわかりやすくお話をされる方」と評判の教授です。

相川 裕さん「弁護士が語る成年後見制度の『ガッテン!』」

東京大学法学部卒業、平成5年に弁護士登録。東京弁護士会「子どもの人権と少年法に関する特別委員会」元委員長、日本弁護士連合会「子どもの権利委員会」事務局長。「高齢者」や「障がい者」、そして何より「子ども支援」への思いが深い、当法人副理事長です。



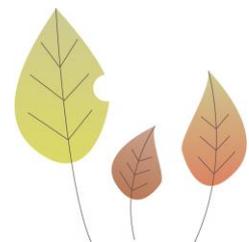
高山直樹さん「市民・当事者参加の権利擁護」



東洋大学社会学部社会福祉学科教授、社会福祉士。横浜市障害者自立支援協議会会長、東京都文京区障害者地域自立支援協議会会長、神奈川県障害者差別解消支援地域協議会副会長。津久井やまゆり園意思決定支援専門アドバイザー。権利擁護システムと障害者の地域生活支援、ソーシャルワークを専門領域としています。

「『当事者主権』を常に意識しその人の表現や行動の見えない部分を想像力を働かせて考えてくれる人、それは専門家ではなくいつもその人の身近にいる市民です！」がモットーの当法人前理事長です。

その他、藤本直也（当法人理事長・社会福祉士）、三谷智百合（同副理事長・社会福祉士）、江崎康子（同事務局長、社会福祉士）等、多くの専門職が講師を務めます。ご期待ください！



●研修タイムスケジュールは、以下の通りです。



9月23日(土) 茅ヶ崎市役所分庁舎5階AB会議室

10:00	開場 受付開始
10:30~10:40	開講式
10:40~11:40	入門「権利をまもる」とは? 鈴木敏彦さん(和泉短期大学児童福祉学科教授)
11:40~12:00	Sネットってどういう組織? 藤本直也さん(当法人理事長)
12:00~13:00	昼食 / 休憩
13:00~14:00	利用者の笑顔がうれしい♪ オンブズマン活動 江崎康子さん(オンブズマン)
14:00~15:00	市民のための 成年後見支援センター(茅ヶ崎市委託事業) 三谷智百合さん(成年後見支援センター長)
15:00~15:10	休憩
15:10~16:10	弁護士が語る成年後見制度の「ガッテン！」 相川 裕さん(弁護士・当法人副理事長)
16:10~16:30	質疑応答
16:30	終了

9月24日(日) さがみ農協茅ヶ崎ビル5階大会議室(一日目と会場が違います。ご注意ください)

10:00~12:00	シンポジウム① 「私たちの『権利をまもる』とは？」 コーディネーター 高山直樹さん(東洋大学教授) シンポジスト 武山育子さん(オンブズマン) 薩摩章子さん(法人後見担当者) 上杉桂子さん(エンパワ・サロン担当者)
12:00~13:00	昼食/休憩
13:00~14:00	シンポジウム② 「当事者の想いを知ってください」 コーディネーター 小野田智司さん(社会福祉士) シンポジスト 富田 祐 ^{たすく} さん、増藤 純さん、斉藤加代(仮名)さん
14:00~14:45	市民・当事者参加の権利擁護 高山直樹さん(東洋大学社会学部社会福祉学科教授)
14:45~15:00	休憩
15:00~16:20	懇談会(テーブルディスカッション)
16:20~16:30	閉講式
16:30	終了

広報48号で、「『権利をまもる』人材育成研修」の後援を頂く団体について混乱があったことをお詫び申し上げます。



オンブズマン活動から

(佐川美智子・武山育子)

こげら・つくみは茅ヶ崎市香川にあるグループホームです。香川駅に近く、地域包括支援センターの「あかね」に隣接しています。2階建てのグループホームは、1階が「こげら」(定員8名)、2階が「つくみ」(定員9名)でそれぞれに担当の職員がいます。1階は食事のとれる広いリビングを中心に内廊下で各入居者の部屋に繋がっています。車椅子利用の入居者も多く、視覚障害の方もおられます。各部屋は一般的な家庭の部屋と同じで、ベッドやTV、タンスがあり、風呂、トイレ、洗濯機などは共用です。2階は1階と同様に食事をとるリビングが中心にあります。内廊下で1階と同じような造りの部屋が5つあり5名の女性が利用しています。また、外廊下で繋がるワンルームアパート形式の部屋は、バス、トイレ付きで、IH利用の台所、洗濯機があり、男性入居者4名が利用しています。



2015年度から、それまでは3ヶ月に1度だったオンブズマン訪問を毎月に変えました。毎月訪問することで、全体の雰囲気も入居者の相談内容の経過もずっと良くわかるようになりました。入居者が施設や会社などからホームに帰ってくる夕方から夜にかけてオンブズマンは訪問しています。それぞれの自室で話を伺うと日中の施設訪問時とは違う生活する利用者の姿がみえます。

グループホームは自室が自分の城ですから、皆さんはゆったりとリラックスして過ごしてい

て、入浴後のパジャマ姿の場合もあります。好きなTV番組を見ている方、好きなおやつを食べ、大好きなタレントやアニメのポスターを貼っている方、ぬいぐるみやおもちゃを綺麗に飾っている方もいます。洗濯物が部屋干しされていることもあります。部屋に入れていただくと、趣味や暮らしぶり、性格など様々なことが感じ取れます。

なかには、相談する内容を決めていて、「今日はこのことについて相談したい」と要領よく話をしてくださる方もいますが、そうしたリラックスした居室での話しですので、面談時間は長くなりがちです。

相談内容で一番多いのは人間関係の悩みです。入居者間のこともありますし、スタッフとの気持ちの行き違いのこともあります。また、就労している方からは仕事場での悩みを聞くこともあります。

休日の楽しみは、外出支援を利用して遠出をしたり、趣味の活動や、買い物に出かけて好きな食事をする時のようです。



障害の種類や区分が違う人たちが一緒に暮らしていますので、他の方の行動に、我慢することや人間関係で悩むこともあるようですが、スタッフの助けがあり、オンブズマンと話すことも役立って上手に暮らしているように感じます。



広報49号をお届けします。第三種の郵送のために、封筒に切れ目を入れる、宛名シールを貼る、封を閉じて糊付けするなどの封入作業を社会福祉法人翔の会「ちがさきの木魂」に発注しています。

